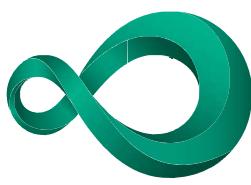


経済学部

FACULTY OF ECONOMICS

□ 経済学科



KONAN INFINITY

甲南大学

What is Economics?

「コーヒーが飲みたいな」と思ったとき、あなたはどこで購入しますか？

駅に行く途中にあるコンビニや自動販売機、ちょっと遠いけれど安くて種類も多いスーパー、マーケット、ハンバーガーも一緒に食べられるファストフードのお店や、少し高いけれどおしゃれなカフェもありますよね。

「どこでコーヒーを買う？」というような普段の生活でよくある選択も、実は経済学を使って合理的な理由や心理的な傾向を考えて、ビジネスに応用することができるのです。

経済学の魅力は、身近な教育や医療の問題から国際貿易や地球温暖化の問題まで、扱う分野がとても広いところにあります。私たちの暮らしに関することで、経済学が関係しないものは何もないといってもいいでしょう。

人を幸せにする方法を考える。
それが、経済学。

「経済＝お金の流れ」って思われがちだけど、幸せな社会をつくるための仕組みや制度はすべて経済学で分析する対象になります。

世の中を冷静に見つめながら人々が幸せに暮らせる社会のあり方について考える——甲南大学で経済学を学び、そんな見方のできる大人になりませんか。



甲南大学経済学部 4つの特色

01

段階的な
学習を促す
カリキュラム

02

主体的に
学習する
少人数のゼミ活動

03

現実の課題解決に
取り組む
プロジェクト型授業

04

1年次から
始まる
キャリア教育

カリキュラム

1年次

2年次

3年次

4年次

基礎科目

中級科目

上級科目

基礎的な学び



学びの展開



専門的な探究

必修科目	基礎ゼミⅠ / 経済入門Ⅰ・Ⅱ 入門ミクロ経済学 / 入門マクロ経済学			
	基礎ゼミⅡ 統計入門 数学入門 ベーシック・キャリアデザイン 英語で読む経済Ⅰ	ゼミⅠ 経済政策 / 経済学の歴史 キャリアゼミ / プロジェクトゼミ PC統計学 / 経済数学 地域プロジェクトⅠ / 現代経済学特論 英語で読む経済Ⅱ / 情報リテラシー	ゼミⅡ プラクティカル・キャリアデザイン	ゼミⅢ アドバンスト・キャリアデザイン インターンシップ 震災と地域経済 / 所得課税法 / 法人課税法 地域プロジェクトⅡ / ビジネスデータ分析
選択必修科目	理論・情報	中級ミクロ経済学 / 中級マクロ経済学 中級統計学	上級ミクロ経済学 / 上級マクロ経済学 / 計量経済 / 家計の経済	国際金融 / 地方財政 / 金融政策 / ファイナンス
	財政・金融	財政 / 金融	公共政策 / 経済体制 / 労働経済Ⅱ / 健康経済 / 地域政策ワークショップ	現代アジア経済 / 現代中国経済 / 現代日本経済 / 現代アメリカ経済 / 現代ヨーロッパ経済
	公共経済	公共経済 / 労働経済Ⅰ / 地域政策	産業組織 / ネットワークエコノミクス / 環境経済	産業経済
	国際経済	国際経済	経済史 / 社会経済思想	現代経済学の諸潮流 / 日本の経済思想家 / 日本経済史 / 西洋経済史
	産業・企業			
	歴史・思想			

NEW TOPIC

ダブルディグリープログラムを開始しました!

2020年度より、米国ユタ州にあるウイーバー州立大学との間でダブルディグリープログラムを開始しました(2021年9月現在、経済学部生限定)。

ダブルディグリー
プログラムとは?

このプログラムを利用することで、3年次の5月からウイーバー州立大学に2年間留学し、所定のプログラムを修了して卒業要件を満たせば、最短4年半で甲南大学の学士(経済学)の学位とウイーバー州立大学のBachelor of Science in International Economics の学位を取得できます(下の図を参照)。



ウイーバー州立大学とは?

1889年に米国ユタ州オグデンに設立された州立大学です。ソルトレイクシティから北に60kmほどのところにあり、学部教育に重きを置いています。学部学生数は約28,000名です。

プログラムを活用した場合の留学イメージ

▼ 甲南大学入学

ウイーバー州立大学卒業 ▼

甲南大学卒業 ▼

甲南大学(2年1か月)

ウイーバー州立大学(2年)

甲南大学(5か月)



修得科目の一部単位を認定



修得科目の一部単位を認定

プログラムに
関する詳細は
本学ホームページへ



最短4年半

専門教育科目【基礎】

1 年 次

基礎的な学び

少人数クラスで 経済学の基礎を学ぶ。

財政・金融からアジア経済、デジタル化まで多岐にわたる経済・社会問題に触れる「基礎ゼミI」と「経済入門I・II」、経済学の理論を学ぶ「入門ミクロ経済学」と「入門マクロ経済学」で、基礎的な知識とスタディ・スキルを自分のものにします。

講義と演習のセットで理解を深める



「経済入門 I・II」、「入門ミクロ経済学」、「入門マクロ経済学」では、本学の掲げる「顔がわかる少人数教育」の方針にそって、中規模教室で行われる講義と少人数の演習が連動して、1年次の学習をサポートしています。

経済入門 I・II

講義では、高校から大学教育への移行をスムーズにするため、金融や国際経済など6つの分野から興味深い話題を取り上げて解説します。その後の演習では、「読む」「書く」「調べる」「議論する」「発表する」等のスタディ・スキルを身につけてもらうため、さまざまなテーマについてグループワークを行います。同時に、多様な学生と協力して作業するむずかしさを知ってもらうことも目的のひとつです。



基礎ゼミ I

1クラス約20名で、10人の教員が輪番で担当します。それぞれの教員が文章の書き方から最新の研究成果までわかりやすく話してくれるため、経済学の多くの分野に触ることができます。少人数でのグループワークもあるので、「この授業がきっかけで友達ができた!」という人も多いです。

基礎ゼミ II

さまざまな社会問題・課題を共同で調査・分析し、その成果をプレゼンテーションやディベート、レポートなど、いろいろな方法で伝えます。「自分たちで考える」「その考えを人に伝える」「たがいに議論する」といった、基礎的な「スキル」を身につけます。

専門教育科目【中級】

2年次

学びの展開

さまざまな人や学問に接して、
知的好奇心を育てる。

少人数で課題解決に取り組む「ゼミI」や「プロジェクトゼミ」とともに、1年次の基礎科目での学びをベースに「PC統計学」や「労働経済I」など、中級レベルの経済学を学びます。

課題解決に取り組み、思考力とプレゼンテーション能力をきたえる



ゼミ I

2年次の「ゼミI」では、多彩な専門分野の中から、自分の興味・関心がある内容を1つ選択し、専門性を高められるようになっています。その分野に関する基礎知識の修得や、現実の経済・社会問題に関する理解を深めます。その後、3年次の「ゼミII」、4年次の「ゼミIII」の研究に発展させます。

→ プロジェクトゼミ ←

甲南大学の卒業生であり、社会の第一線で活躍する経営者から提示される課題に対して、学生が自ら考えた解決策を提案します。授業は、グループワークが中心です。この授業では、教員は、論点を整理したり、考えを深めたりすることを学生に促す役割に徹します。「教えてもらう授業」ではなく、「自分たちで考えるプロジェクト型授業」です。



PC統計学

「PC統計学」では、高機能なフリーの計量経済分析ソフトgretlを用いたデータ分析の実習を行っています。「習うより慣れろ」をモットーに、実際にコンピューターを操作してデータの読み取り・図示・分析を行い、その上で分析の目的・手法・結果について理解を深めます。学んだスキルはゼミ研究や卒業論文、そして将来の仕事にも役立ちます。

労働経済 I

「労働経済」で取り上げる問題は、正社員と非正社員で収入はどれだけ違うか、失業したら雇用保険はいくらもらえるか、「103万円の壁」とは何か、育児休業中に給付金はあるか、片働きだと老後の年金はいくらかなどです。身近な問題から出発して生きていくための知識を広く学んで、自分自身の生き方・働き方や社会のあり方を考えます。



専門教育科目【上級】

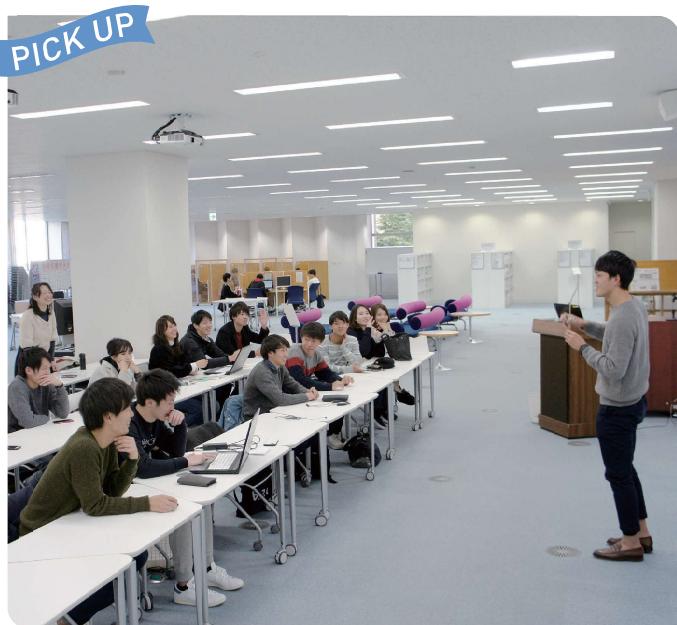
3・4年次

専門的な探究

専門知識を学んで自主的に研究し、研究成果を発表する。

経済学部での学びも、いよいよ独自の研究成果を生む段階。専門科目を学ぶとともに、「ゼミⅡ」、「ゼミⅢ」では、研究発表大会（インナーゼミナル大会）に向けて準備を行い、独創的なアイデアをプレゼンテーションと論文の形で発表します。

独創的なアイデアで経済問題を解く



— インナーゼミナル大会 —

40年以上の歴史をもつ「インナーゼミナル大会」は、ゼミ単位でテーマに基づいた研究成果を発表する、経済学部生にとって最大のイベントです。働き方改革や年金制度、金融危機、さらにはインバウンド戦略やeスポーツの可能性まで、経済学という学問の幅広さを物語る多様なテーマで発表されます。



ゼミⅡ・Ⅲ

「ゼミⅡ」では、「ゼミⅠ」で学んだことを土台にして、テーマを定めてアンケートやインタビュー調査などさまざまな研究活動を行い、その成果をインナーゼミナル大会で発表します。「ゼミⅢ」では、2年間のゼミで学んだ成果を踏まえて卒業論文やレポートの作成、卒業後の進路にかかる研究を行います。



地域政策 ワークショップ

地域の将来を担う人材の育成を目指し、2021年度に一新された科目です。行政・企業からのヒアリングによって抽出した地域課題について、中級科目の「地域政策」で学んだ地域経済のメカニズムを土台とし、統計データ等を用いてその解決策を検討していくプロジェクト型授業です。

環境経済

環境問題を解決するためには、多くの人に環境に優しい行動をとってもらうことが必要ですが、そのためには、環境に優しい行動をとった方が得になる仕組みを作ることが重要です。この授業では、デボジット制やレジ袋有料化などの身近な事例を通して、人々の行動を環境に優しいものに誘導するための仕組みづくりについて学びます。

キャリア創生共通科目

1~4年次

将来に生かす学び

1年次から始まるキャリア教育で今、学ぶべきことを考える。

大学生活の「今」と「これから」について考える「ベーシック・キャリアデザイン」や、少人数クラスで職場訪問をしたり、社会人と交流する「キャリアゼミ」などで、社会で通用する力を身につけます。

4年間のキャリア教育で“なりたい自分”と“やりたい仕事”を探す



1年次 ベーシック・キャリアデザイン

授業は毎回テーマを変えた「アクティブ・ラーニング型」と講師やゲストを招いた「発見・気づき型」の2種類に分かれ、学部の学びと就職とのつながりを考えます。



2年次 キャリアゼミ

甲南大学の卒業生をはじめ、社会で活躍している方々をインタビュー・ゲストとして招いたり、職場訪問を行います。ビジネスの現場にふれることを通して、「どんな働き方をしたいのか」、「大学時代に何をすべきか」などを考えます。



3年次 インターンシップ

企業や団体、地域社会などで実際に仕事を体験して、社会で求められている知識や能力がどのようなものであるかを考えます。学んだことを大学の学びや職業選択に役立てます。



就職活動へ



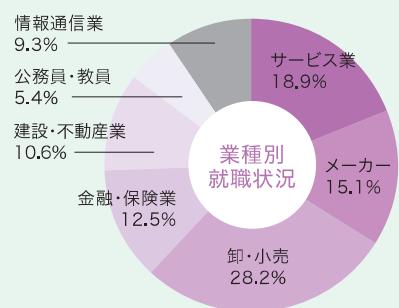
CAREER

問題を発見し解決する力は、あらゆるビジネスに応用できる。

経済学の基礎知識をしっかりと身につけ、ビジネスに不可欠な問題発見・解決能力を磨いた学生たち。このスキルを武器に、一人ひとりが自分からがんばろうと思える職場を見つけています。

2021年3月卒業生の主な就職先

大和ハウス工業株式会社、三井住友建設株式会社、株式会社大林組、東海旅客鉄道株式会社、株式会社船井総合研究所、阪急電鉄株式会社、株式会社ファンケル、小林製薬(株)、旭化成ファーマ(株)、株式会社ニトリ、三菱電機株式会社、資生堂ジャパン株式会社、株式会社ユーハイム、株式会社日本アクセス、エブソン販売株式会社、日本生命保険相互会社、住友生命保険相互会社、株式会社池田泉州銀行、姫路信用金庫、富士ソフト株式会社、コベルコシステム株式会社、高松国税局、神戸税関、大阪市消防局、鹿児島県庁、兵庫県警察本部、兵庫県教育委員会、愛知県教育委員会



★2021年3月に卒業した経済学部生のうち、就職を希望した学生の就職率は男性96.1%、女性99.1%でした。(男性230名、女性113名)。

Student Voice

学生たちの声

経済学部では主に地方財政について学びながら、地域連携センターの学生スタッフとしても活動しています。今年の春には、学生と地域のボランティア団体をマッチングさせるイベントの運営に携わりました。コロナ禍でイベントが少ない中、オンラインで交流の場を提供し、地域に貢献できることに喜びとやりがいを感じました。

高校生のみなさんには、学業以外にも様々なことに興味を持ち、果敢に挑戦してほしいです。そこで身に付けた知識や人ととの出会いは、今後の人生の糧になります。ぜひ、経済学部に入って、充実した大学生活を送りましょう！



小紫 理加さん(3年)



CHIIKI(地域)×GAKUSEI(学生)～マッチングプロジェクト2021～

リーズ大学(イギリス)への奨励留学



大学では、経済学や第二外国語の授業、以前から目標としていた留学やロフトアシスタントなど、沢山のこと挑戦してきました。の中でもイギリスへの半期留学は、新たな人の出会いや自分の主体性を高めることができた、かけがえのない時間でした。

経済学部は、諸外国の経済や財政学、環境経済学など幅広いことを学び、視野を広げることができる学部だと思います。高校に比べて自由で時間がかかる大学時代に、失敗を恐れずに色々なことに挑戦し、充実した学生生活を過ごしてください！

Question & Answer

経済学部への Q & A

オープンキャンパスなどで高校生のみなさんからよく寄せられる質問に、経済学部の教員が答えます。

Q1 経済と経営ってどう違うんですか？

経済学と違って経営学では、企業経営の観点から、企業が置かれた環境を分析したうえで、その動かし方を学んでいます。一方、経済学では、限られた資源のもとで、私たちの生活がいっそう豊かになるにはどうしたらよいかを考えていきます。金融危機や所得格差、社会保障や環境問題に至るまで、私たちが暮らす社会には解決すべき課題が多くあります。これらの課題を客観的な方法を用いて明らかにしたうえで、多くの人々が幸せに暮らるために、どういった仕組みが必要なのかを考えていきます。

「豊かさとは何か」を考えるすべての人に大きな気づきを与えてくれる、それが経済学だと思います。

石田 功教授



Q2 高校と大学の学びの違いはなんですか？

決まった時間割で授業を受けていた高校時代と異なり、大学では自分だけの時間割を作成し、各分野の専門家である教員の授業を受けます。授業の形式は講義や演習・ゼミナー、実習など様々ですが、自分で発見した問題に関して積極的に調査や議論を行うことで、課題発見力や問題解決力を養います。

学生生活の4年間で得られる糧は、個々の学生の選択によって異なり、時間の使い方や学ぶ内容を自由に決めることができるのが大学です。自分の疑問や目標を見つけて、トコトン考え、何が望ましいかを選択し、足立 泰美教授自ら率先して行動してみてください。

足立 泰美教授



Q3 数学が苦手なんですか？大丈夫ですか？

経済学部では難しい数学を使うとか、数学をたくさん使うとかといったイメージがあるかもしれません、実際にはそんなことはありません。入門レベルの授業では数式はほとんど使わず、図を使って説明しますので、中学で学ぶ数学の知識があれば十分に理解できます。

中級以上の授業では、少し難しい数学を使うものもありますが、その場合は授業の中で基礎から丁寧に解説しますので、心配しなくて大丈夫です。数学が苦手な人でも、授業の中で無理なく知識が身につき、経済学がきちんと理解できるようになりますので安心してください。

小山 直樹教授



CHECK!

「甲南Ch.」

甲南を知って、甲南へ行こう。

甲南大学受験生向け情報サイト

<https://www.konan-u.ac.jp/hp/redirect/keizai-ch.html>



甲南大学 経済学部

検索

*パンフレットの掲載内容は、2021年9月現在のものです。